

# 上京区地域保健推進協議会 令和3年度実績報告

## 1 母子保健

### (1) 母子健康手帳

	令和3年度	令和2年度
交付件数	397件	400件

令和2年度の発行数を428件から400件に修正している。令和元年度429件からは減少したが、その後は横ばいである。

### (2) 妊婦訪問（こんにちはプレママ事業）

	令和3年度	令和2年度
延訪問指導件数	133件	132件

母子手帳を交付したうち、初妊婦等に対し訪問をするものである。令和元年度の155件から減少したが、令和2年度と令和3年度は同程度であった。

### (3) 新生児等訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業）

	令和3年度	令和2年度
対象者数	363人	351人
延訪問指導件数	330件	292件

対象数は12件の増加であったが、延べ訪問件数は38件増加しており、訪問実施数の増え幅が大きかった。令和元年度の395人426件に比べると少ないが、増加傾向にある。

### (4) 乳幼児健康診査

	令和3年度		令和2年度	
	受診者実数	受診率	受診者実数	受診率
4か月児健診	338人	98.5%	353人	93.4%
8か月児健診	322人	99.0%	365人	93.1%
1歳6か月児健診	359人	98.0%	397人	85.6%
3歳児健診	473人	97.0%	190人	42.3%

3歳児健診は、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に中止した時期があったことから受診者数が減少している。令和3年度は直営健診にしていること、3歳児健診を中心に追加健診を実施した関係で受診者数が増えている。出生数減少にともない対象数も減少しているが、受診率はいずれの健診も高くなっている。

(5) 家庭訪問型継続的個別支援

	令和3年度	令和2年度
延訪問件数	145件	100件

家庭訪問型継続的個別支援は要支援家庭など虐待等のハイリスク家庭への訪問実施件数である。令和2年度の272件は別の訪問延べ数であったため、100件に修正した。

(6) 離乳食講習会

	令和3年度	令和2年度
実施回数	7回	6回
参加者数	70人	58人

実施方法は対面式4回（9回予定、コロナのため5回中止）、オンライン式3回。オンライン式で行った教室の参加者意見は「感染のリスクが減り、安心して受講できる」「双子を連れて受講するのは大変なので助かった」「自宅で気軽に受講できるので良かった」「画面越しに見るので実物を見たかった」「他の保護者と悩みを共有したかった」という感想があった。

(7) 乳幼児歯科相談

	令和3年度	令和2年度
延相談件数	21件	19件

令和3年度は6回実施。体調不良等でのキャンセルが多く、1回は来所0であった。相談者の約半数が0～1歳児。主訴は「歯みがきについて」が多いことから保護者の歯みがきへの関心の高さがあり、難しさの解消の場所となっていると推察する。

(8) 親子の健康づくり講座

	令和3年度		令和2年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
プレママパパ教室	6回	46人	6回	63人
所内実施型	3回	28人	3回	85人
地域出張型	4回	21人	0回	0人

人数制限等の感染予防を行いながら教室を徐々に再開しているが、参加者は少ない。プレママパパ教室は所内での開催を中止し、令和3年度はオンラインで開催した。

(9) 親子すこやか発達教室

	令和3年度	令和2年度
実施回数	0回	5回
延参加者数	0人	30人

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、全区において令和3年度の実施はなかった。

## 2 健康増進

(1) がん検診受診者数

	令和3年度	令和2年度
肺がん検診	786人	497人
胃がん検診	236人	203人
大腸がん検診	982人	795人
乳がん検診	724人	686人

精密検査未受診者には電話で受診状況の確認を行ない、その時点でも未受診の方には受診勧奨を行っている。また連絡がつかない対象者には郵送で受診勧奨を行っている（令和3年度実績数78名、対応数100%）。

(2) 健康教育

	令和3年度		令和2年度	
	実施回数	延参加者数	実施回数	延参加者数
集団健康教育	17回	495人	19回	377人
出前教室	8回	115人	5回	90人
防煙セミナー	1回	75人	回	人

出前教室の依頼元は子育て支援活動センター、児童館、健康すこやか学級等。

(3) 食育セミナー

	令和3年度	令和2年度
実施回数	5回	3回
延参加者数	38人	12人

年間7回予定していたが感染症対策がとれる5回を実施。感染症対策のため調理実習は実施せず、展示食や試食を行った。募集方法は区版しんぶんを利用。食育指導員（京都市が育成している食に関するボランティア）の活動の場でもある。

#### (4) 歯科保健

	令和3年度		令和2年度	
	実施回数	延相談・参加者数	実施回数	延相談・参加者数
成人・妊婦歯科相談	12回	55人	10回	44人
お口からはじめる生活習慣病予防教室	1回	38人	2回	26人

成人・妊婦歯科相談のべ相談数・参加者数の55人のうち35人は妊婦。母子健康手帳発行時にチラシや子どもはぐくみ室事業（プレママパパ教室）を通じて案内しているお口からはじめる生活習慣病予防教室は、保健協議会連合会全体研修で行った。

### 3 精神保健

#### (1) 精神障害者保健福祉手帳

	令和3年度	令和2年度
新規交付件数	80件	76件
所持者数	1,056人	1,010人

新規交付件数は年度により増減しているが、手帳所持者数としては対前年度比3～5%の幅で毎年増加している。

#### (2) 自立支援医療費（精神通院）

	令和3年度	令和2年度
承認件数	1,614件	1,761件

令和2年度はコロナ特別対応により有効期間を自動延長したため承認件数が急増したが、令和3年度は通常の手続きであったため前年度よりも減少したものの、令和元年度に比べれば9.7%増加している。

#### (3) 精神保健福祉相談事業

	令和3年度	令和2年度
延相談件数	37件	45件

他区に比べると、大学生を中心に比較的若年層の相談が多い。相談者は本人・家族が半々程度。家族同伴で本人が来所するケースもあり。

#### (4) 地域生活安定化支援事業

	令和3年度	令和2年度
延参加者数	7人	15人

月1回、当事者がミーティングやレクリエーション、施設見学等のプログラ

△に参加し、卒業後は地域のサロンや就労支援施設等の利用を目指している。

#### (5) 家族懇談会

	令和3年度	令和2年度
延参加者数	9人	19人

令和2年度は2回シリーズでの開催だったが、令和3年度は1回のため参加者数が減少した。密を避けるためにこれまで行っていたグループワークを個別相談会に変更し、好評だった。

### 4 難病

#### (1) 難病患者相談

	令和3年度		令和2年度	
	面接相談件数	訪問相談件数	面接相談件数	訪問相談件数
延相談件数	40件	21件	41件	39件

面接相談は特定医療費に係る支給認定申請をした神経・筋難病患者や新たに障害福祉サービスを申請した難病患者に対して行い、訪問相談は面接相談の結果必要と認められる者に対して行う。

#### (2) 特定医療費

	令和3年度		令和2年度	
	新規	継続	新規	継続
申請件数	117件	637件	87件	638件

新規申請は年度により増減があるが、更新件数は毎年600件台前半で推移している。

### 5 感染症

#### (1) 感染症届出（新型コロナウイルス感染症，結核除く）

	令和3年	令和2年
届出数	23件	36件

（令和3年度の内訳：1類 0件，2類 0件，3類 4件，4類 2件，5類 17件）

届出受理、その後の対応を含め京都市保健所が実施。保健福祉センターは上記届出以外のノロウイルス感染症等による集団胃腸炎の発生や相談があれば訪問調査し、終息するまで対応を行う。令和3年度の集団胃腸炎による区対応件数は6件（のべ151名）。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症 ※全市の合計届出数

	令和3年	令和2年
届出数	21,215件	3,369件

区別の統計は出していない。保健福祉センターでは対応していないが「保健所に電話が繋がらない」という苦情に追われた。

### (3) 結核

	令和3年	令和2年
新規登録者数	14人	7人
(再掲)喀痰塗抹陽性者	4人	5人
潜在性結核感染症患者数	2人	4人
年末時登録者数	21人	17人

14人の内訳は70歳以上高齢者11名、外国人3名。発見が遅れ入院治療になると廃用性症候群や社会からの断絶が起こり福祉制度や生活困窮対策等の利用や言葉や文化の壁を越えての支援が必要になる。健康管理だけでなく生活支援関連の連携に時間を費やす状況がある。

### (4) 予防接種（BCG）

	令和3年度	令和2年度
接種者数	333人	364人

令和元年8月から協力医療機関における完全個別接種化を実施。